

道路ユーザーネットワーク広場

NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK

★三好礼子の★ ナチュラル・ロード



三好礼子
エッセイスト・元国際ラリスト
～ <http://www.fairytales.jp/> ～



「長野県身体障害者スキー協会」主催のバイスキー講習会にて、ついに乗って降った雄大さんと健二さん!



18年間の色々な思い出が溢れ出し、最後は健二パパ号泣の「SSTR2021」千里浜ラン。

オリンピックは感動の連続でしたが、パラリンピックも凄かったですね。超えるもの大きさは想像もできませんが、人間の無限の可能性を表現してくれるアスリートたちに多くの勇気を貰いました。紹介される参加者の人物伝には「どん底」だった人も多く、そこから復活劇には涙が止まりません。でも、スティックなトレーニングとは真腹にユニークな方が多く、その様子にも心ホコホコしてきます。私の周りの障がい者はやはりライターが多いのですが、同じく笑い顔しか浮かびません。下腿が不自由な方、片腕の方、内臓疾患の方と様々ですが、乗り越えた先にある操縦テクニックや独特なマニュアルや生き方には学ぶもの多し。みんな違って輝いているこの素晴らしさをいつも感



ホンダGW1500で出陣前の3姉弟。サイドカーには千宙ちゃん、梨音ちゃん、タンデムシートには大河くん。



良和さんと梨音さん、元スキー選手、梨音さんはスキーヤー。木島平スキー場で中山ファミリー。



昨年末の初顔合わせ。雄大くんはしっかりと2本指ピース。千宙ちゃんともすぐに仲良し。

筆で字を書いたり、支えが誘われて、さっそくバイス

ないと座ることもできませんが、表情は本当に豊かです。姉の梨音さんが、半愛らしいのです。姉の梨音さんと弟の大河くん(今年小4)がまた可愛がること。可哀なること。そんなアクティヴな中山家の冒険は広がる一方。近くのスキー場ですが、初めてリフトにも乗って、最後のスキーに、ソリにも乗って二人でアイススキーに乗って二人で下板が滑るものは、仲父、号泣! 実、正田さん、母の梨音さん、間たちと積極的に講習会など開催しているかと思えば、なんとトランポリンもやっちゃったか! 今年からは「SSTR(太平洋から日本海までの一般道を二さんの趣味であるバイクのタンデムシートにいくつか乗せようという願いが叶ったのは3年前のこと。ベルトを固定して、ほぼ毎週近くをツーリング。少しづつ距離を伸ばして、とうとう日帰りで約500キロ走ったのが、昨年の夏の松本がカフエへのツーリングでした。CBI3000から降りてきた雄大くんは、

見れますように、

全然へっちゃらだったけど、記念写真を撮った。それまでどうしても本指になってたピースが2本になっていて、父ヒックリと号泣! 私思わず泣いちゃいました。注射を大人しく打てたり、歯磨きがうまく出来たり、一人で出来ることなど増えている。雄大くん、増えているのだ。正田親子がカフエの次に目指したのは、昨年の「SSTR」往復で千キロを無事に走破すると、見た目にも雄大くんの顔つきが変わってきました。なんだか大人っぽくてカッコいい。今年の「SSTR」は往復1400キロに挑戦しようです。そんな奮闘記をSNS発信している正田さんの元には、家族に障がい者がいてもうまく向き合えない人などから、勇気をもらえたというメッセージが数多く届くとか。思う通りに行かないこともある雄大くんも奮闘し続けてきた正田さん自身も、エールを送る周りの仲間達も、みんな「雄大くんから教えてもらっている気がする」といいます。ありがとうございます。涙は人生のエッセンス。中山家と正田家が駆け抜ける5月末の「SSTR」、どうか黄金の夕陽が見れますように。



ハット
思いました
魚
「ハット」は学習能力や社会性などは無いのだから。いつまでも、こんな情けない事ばかりを話題にしなければならぬのか! 以前、キャッチ&リリースで渓流釣りをしていた時の事、仲間との話で「一度針に掛かっただけは掛かると、少し間を置くと、また掛か

都市計画の中の街路(28)
ストリート・トポニミー(その4)
東洋大学 国際学部・准教授 志摩 憲寿
明治・大正・昭和・平成として道路建設が進められ、令和という時代区分で元々、この大正町通りを含む号通りを数えてみると(厳密には昭和の昭和町通りが閉じられ、現在は元号ではありません。さらに昭和62年に改修が行われるなど、長野市が、江戸通りもちよくちよく見られます。これは昭和町通りはまさに昭和の追って調べてみることにし、15年と最も短いのが大正町通りが全国に11路線見られたことが特徴的ですが、23路線とやはり数が最も多かった昭和町通りも注目して、その由来を見てゆきたいと思えます。
この昭和の長い歴史を感じさせるのは長野市を走る昭和通り(国道19号)かもしれません。もともと大正2年に「大正町通り」として一部が開通していましたが、昭和2年に都市計画区画を昭和5年に街路、公道道路愛称事業において名前と、続いて昭和10年には昭和町通りを東西を走るこの目録に、戦災復興土地地区画整理事業において整備された街路が付けられた6路線の一つとして、戦災復興土地地区画整理事業で整備された象徴的な街路には後に昭和通り(灰色)の名が付けられました(灰色点線は明治通り)(出典:福岡市ウェブサイト)

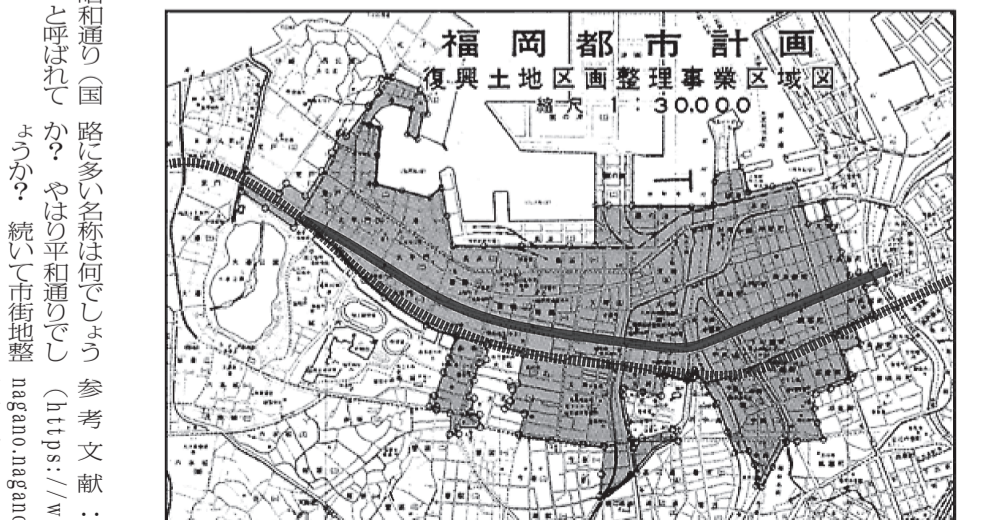


図 戦災復興土地地区画整理事業にて整備された象徴的な街路には後に昭和通り(灰色)の名が付けられました(灰色点線は明治通り)(出典:福岡市ウェブサイト)